

## 事業マネジメント実施に関するガイドライン策定委員会 第4回 議事概要

日時：令和6年2月22日（木）15:00～17:00

場所：TKP カンファレンス PREMIUM 東京駅丸の内中央  
カンファレンスルーム 12G

### 【議事概要】

事業マネジメント実施に関するガイドライン（案）についておよび事業計画様式1について、事務局から配布資料について説明が行われた後、委員の意見を伺った。

委員からの主な意見は以下のとおり。

#### 1. 事業マネジメント実施に関するガイドライン（案）の概要について

- ・事業マネジメントのイメージ図について、DXの要素についても加えてもよいのではないか。
- ・官民手法（PPP/PFI）は様々あるため、ウォーターPPPに特化せず、PPP/PFI手法の全体が分かる体系図があった方が自治体も理解しやすく、選択しやすいのではないか。
- ・「適切な規模や機能を備えた施設にフルモデルチェンジしていく」中で、現状評価に関する考え方では「能力や機能」と記載されたり、実際の評価に関しては「能力」だけとなっているため、言葉の定義の整理を行うとともに機能も含めた現状評価として何を評価するのかに関する記載を追加してほしい。
- ・施策相互の調整について、中小自治体にも分かるような丁寧な解説がほしい。例示等で補足いただきたい。
- ・下水道の進化について、新技術の活用などのキーワードを含めてもよいのではないか。官を補完するための技術や手法として、ウォーターPPPを導入する背景などを記載してもよいのではないか。

#### 2. 事業計画様式1について

- ・例示されている指標は、必ず記載しなければいけないものなのか、各自治体独自の指標を追加し、各自治体独自のものに変更してよいものなのか説明が必要。
- ・様式1の通知を出す際には、事業マネジメントガイドラインと様式1の関係性を提示いただきたい。